

進路だより

No.2

大阪府立堺支援学校・進路指導部

令和7年7月15日

高等部進路学習週間

高等部では、6月9日（月）～13日（金）の5日間、進路学習週間として作業実習に取り組みました。

【1年】高等部になって初めての進路学習週間でした。何をするのか、事前学習でしっかり話を聞き、5班に分かれて、作業に取り組みました。作業内容は、「三宝ねじ」「通送便」「空き缶つぶし」「封筒作り」「玉ねぎの皮むき」「木管抜き」「金具袋詰めと箱セット」「フェイスマスク作業」「電気解体作業」「ウェルシア品出し体験」等、外注や内注作業をしました。皆、実習の心得（「挨拶をする」「時間を守る」「丁寧な言葉」「身だしなみ」「黙って仕事をする」「説明を聞く」「質問、報告をする」「協力する」）を意識し、取り組みました。普段の授業と違う5日間でしたが、落ち着いて取り組み、最初はできなかったこともできるようになり、自分の得意な作業や苦手な作業も分かり、成長が感じられる5日間でした。事後の振り返りの発表では、各々が取り組んだ作業や頑張ったことを発表しました。今回の進路学習期間で学んだことを普段の授業や、学校生活にも生かして、進路に向けて意識して行ってほしいと思います。

【2年】2年になり、最初の進路学習。今回で3回目になりました。4班に分かれて、それぞれの作業に取り組みました。作業内容は、電線の解体作業、チラシのマーカー引き、空き缶つぶし、木管抜き、フェイスマスクの整理、緑化センターでの清掃作業などでした。3回目の進路学習ということもあり、全体的に落ち着いて作業に取り組むことができていました。作業をいただく時、質問をする時などの言葉遣いなども、社会を意識して取り組んでいたように思います。少しずつ協力して作業に取り組むことができるようになり、成長が実感できる時間となりました。

今回の経験を夏の福祉事業所実習で活かし、今後の進路決定につなげてほしいと思います。

【3年】3年生に進級し、最後の進路学習週間となりました。今回も5つの班に分かれて5日間、取り組みました。作業内容は班ごとに異なりますが、空き缶つぶしや木管抜きの作業、ホウ酸団子の制作、フェイスマスクの整理、電線の解体などのやり慣れた作業の他にも掃除機のメンテナンスやミシンを使った縫製作業、高齢者施設での介護のお仕事体験などいろいろな作業を体験しました。

また、この期間中にグループホームの見学を計画していたのですが、雨天のためオンラインで行いました。親から離れて自立した生活を送っておられる様子を垣間見ることができ、将来の生活について視野を広げることができました。

5日間を通し、一生懸命に作業し、集中できる時間もだんだんと長くなってきている様子を見て、さすがは3年生だなあと感心しました。これまで5回経験した進路学習週間で学んだことを今後の学校生活や卒業後の生活でも活かして行ってほしいと思います。

【中学部】高等部進路学習週間の実習に、中学部のAB班は体験参加、C班は見学で高等部の各教室を回りました。ホウ酸団子の乾燥作業や、包むためのアルミホイルの大きさをそろえて切り取る作業などを、高等部の教室と一緒に体験をさせていただいたり、見学をさせていただいたりしました。高等部の皆さんが集中して取り組む姿に、自分たちの数年後を思い浮かべたりしました。「来年お世話になります」とあいさつをしたりもしました。緊張感を持って体験・見学ができました。高等部に行ったとき、そして学校を卒業したとき、何が必要なのか、今どんなことを頑張るとよいのか、考える貴重な機会になりました。

きぎょうたいけんじっしゅう 企業体験実習 高2

6月9日～6月20日まで、生徒の実態に合わせて2日間～5日間の企業体験実習が行われました。今回初めて企業体験実習に参加した生徒は2名、2回目が4名、合計6名の参加となりました。はじめて実習に参加する生徒は2日間、緊張しながらも懸命に指示された仕事をがんばることができました。実習5日間の生徒は前回の経験を活かし、作業や接客など、集中してやり遂げることができました。高2の生徒が携わった業種は、小売店での品出しや在庫整理、清掃、宿泊施設の客室清掃、軽作業等です。この実習を通して得た自信と、ご指摘いただいた課題をこれからの学校生活に活かしてほしいと思います。



ふくしじぎょうしょ しょくぎょうくねんこうこうどうせつめいかい 福祉事業所・職業訓練校合同説明会

福祉事業所・職業訓練校合同説明会を、5月8日（木）に本校図書室・体育館を会場として開催しました。

今回で第11回となり、今年度は83法人157事業所の参加がありました。第1部として「福祉事業所の事業形態について（堺市健康福祉局 障害福祉部障害福祉サービス課認定給付係より全体説明）」、第2部として「各福祉事業所・職業訓練校の説明（個別ブースで実施）」の2部構成で実施しました。本校の保護者は約70名の参加、地域関係機関の方は約30名の参加でありました。

事前に配布した資料をもとに、目的のブースを順に回る方や、各事業所の事業形態を調べながら回る方、空いているブースを順番に回る方など、皆さん各自の方法で情報収集されていました。

参加した保護者の方より「福祉サービスの種類や利用の仕方wわかりやすく説明してもらえた」や「入学してすぐであったが、先のことに見通しが持つことができ、良かった」、「気になる事業所がたくさんあり、一度に多くの資料や情報をもらえて、ありがたかった」などのご意見をいただき、進路のことを具体的に考える機会となりました。来年度も保護者と福祉事業所等とのつながりがもてる機会にしたいと考えています。

ふくしじぎょうしょけんがくかい 福祉事業所見学会

5月19日（月）～5月26日（月）の期間に、5か所の福祉事業所見学会を実施しました。

「生活介護」「自立訓練」「就労継続支援B型」「就労移行支援」とサービスの違う事業所5か所の見学で実施しました。

今回は高等部の保護者の方を中心に、小、中学部の保護者の方にもご参加いただき、合計で約25名の方にご参加いただきました。見学会では、実際の利用者様の活動のようすや施設見学、担当者の方との質疑応答の時間を設定しました。活動内容についての質問だけではなく、利用者さんの人数や定員、食事、送迎範囲など質疑応答の時間にさまざまな意見交換が行われるなど、活発な見学会となりました。

また、1月にも福祉事業所見学会を企画する予定ですので、ぜひご参加いただき、各事業所の違いを、保護者の皆様に体感していただけたらと思います。

だい かい ほ ごとしゃしんろうがくしゅうかい 第1回 保護者進路学習会

7月2日（水）に本校高等部卒業生の保護者2名をお招きし、「高等部に入るまでの様子（進路のことを考えていたかなど）」、「高等部に入学してからいつくらいから、どんなきっかけで進路を意識するようになったか、どんな行動をしたか、（情報収集や見学など）」「福祉事業所を利用した今の生活について」などについてお話をいただきました。

全体での説明の後は、講師さんを交えてのグループ別の座談会をしました。参加の保護者の方からは、「日中の福祉事業所から帰ってきた後の過ごし方」や「福祉事業所を決定した理由」、「進路の流れの確認」について等の質疑応答があるなど、有意義な学習会となりました。

次回の保護者対象の進路学習会は1月25日（日）【休日授業参観日】に「障害基礎年金」をテーマとして予定しています。日が近くなりましたら、案内を配布しますので、ご確認ください。ご参加をお待ちしています。